



冬の足音

今年の秋は穏やかな秋晴れが多く、休み時間に元気よくグラウンドを走り回る子どもの姿がたくさんみられました。11月下旬になると一気に冷え込みが増し、体調管理が難しくなってきました。今のところ南小では流感等の広がりは見られませんが、引き続き「うがい、手洗い、換気」を徹底していきます。ご家庭での感染症対策もよろしく願いいたします。

先日、校舎裏の給食搬入口に「除雪機」が出されました。校地内の樹木の雪囲いも始まりました。花壇のコキアも紫色からベージュ色に。そういったものを目にするると、冬の足音が少しずつ近づいているように感じます。今年も残すところ、1ヶ月ちよつととなりましたが、この時期になるとよくテレビで流れるのが「流行語大賞」です。ノミネートの中の一つに大谷翔平選手の「50-50」がありますが、南小で達成できそうな50-50があります。「35-44」（11月下旬時点）です。

35⇒今年度の読書冊数100冊を超えた人数が35人！

44⇒全員が登校した日数が44日！

この2つ、「50-50」にいつ達成できるか楽しみです。



丸々と育った
コキア←

さて、先日はみなみっこ子ふれあい祭に多くの方からご観覧いただきありがとうございました。当日の講評でも話させていただきましたが、よりたくさんの観客に皆様がいこそ、大きな達成感、充実感を得られるのだと思います。地域の方々、保護者の皆さん、そして楡引中学校の先輩までもが来校してくれ、おかげさまで「地域の方やお家の人に喜んでもらい感謝の気持ちを伝えたい」という子どもたちの願いが叶えられました。感謝申し上げます。今後も、地域・保護者・学校の輪を大切にしながら学校教育がすすめられていきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

仏さまの話

「仏さまの話」をご存じでしょうか？次のようなお話です。

あるとき、仏さまが道ばたに立っていらっしゃると、1人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこはたいへんなぬかるみであった。車はそのぬかるみにはまってしまう、男は懸命に引くけれども、車は動こうとしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。仏さまはしばらく男のようすを見ていらしたが、ちと指先で車にお触れになった。その瞬間、車はスッとぬかるみから抜けて、男は車を引いて行ってしまった……。

この男の人は仏さまの指の力に助けられたことは知らないで、自分が努力してついに引くことができたと思っているのです。そして自信と喜びでその車を引いていったのです。・・・我々大人（お家の方、地域の方、教師）もこのお話を見習って、子どもたちが困っているときにさりげなく力を貸し、子どもたちのがんばり、努力を实らせ、自信をもっていろいろなことにチャレンジできる心を育てていきたいものです。見返りなど求めずに…。

校長 奥山 徹